



(題字 旧石鳥谷町長 高橋公男氏)

連絡所：在京花巻ふるさと会事務所  
〒103-0004 東京都中央区東日本橋  
3-5-9 市川ビル3階  
TEL:03-6661-1925 FAX:03-6661-1926  
事務局：高橋弘美  
〒270-0127 千葉県流山市富士見台  
1-10-40  
携帯 080-5529-8803



2023年『白鳥と岩手山』

写真:新堀地区コミュニティ会議 石川 永子

**【2023年 行事予定】**

11月 5日(日) 令和5年度 在京石鳥谷町人会 総会・親睦交流会  
場所： 上野 精養軒



在京石鳥谷町人会HP

ごあいさつ

在京石鳥谷町人会

会長 高橋 弘美



会員の皆様こんにちは。高橋弘美でございます。

皆様におかれましてはお健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年11月6日に3年振りに念願の在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会を開催することができました。会員の皆様のご協力の賜物であり深く感謝申し上げます。また、ふるさとからは郷土芸能の新堀さんさ会の皆様によるさんさ踊りや各コミュニティの方々も多数ご出席下さり親睦交流会を大いに盛り上げて頂きました。そこには首都圏在住の会員とふるさとからお越しのご来賓・コミュニティが一体となった「もう一つのいしどりや」が在りました。みなさんと共に作り上げた世界です。誠にありがとうございました。

世の中がコロナ禍にあり人の交流が制限される中であっても在京石鳥谷町人会はふるさととの強い絆を常に念頭において活動を進めてきました。昨年は協賛企業の皆様を応援するべく会社紹介リーフレットを作成し配布致しました。大変好評でした。

今年は新堀振興センターで開催された「令和4年度石鳥谷地域コミュニティ会議一第2回代表者会議」の最後に在京石鳥谷町人会として初めてお時間を頂いて、平素から賜っているご協力への感謝と、郷土芸能派遣継続願いと新規会員募集キャンペーンのお願いなど、いろいろご説明・ご相談などをして参りました(当会から3名出席)。そこでは大変貴重なご意見を数多く頂戴しました。その一つをご紹介しますと、石鳥谷から新幹線で東京の上野精養軒に着いたその会場に子供さんたちが結構いて、なにか楽しげというか、優しく柔らかい雰囲気があり会全体がアットホームな感じが出ていてとてもよかった、というものでした。会長の私としてはご来賓や重鎮会員へのもてなしに重きを置く傾向がなくなかったなど視点の狭さを反省致した次第です。頂いたご意見の一つひとつをよく考えながら今後の当会の運営の参考にしていきたいと思いますが、やはりふるさととの絆を強くしていくためには今回のようなコミュニティの皆様と直接お会いしてご意見を賜ることも重要なことだとあらためて感じた次第です。

さて、令和5年度が始まりました。今年は前記にある通り各コミュニティに新規会員募集のご相談をしたこととも併せて「新規会員募集キャンペーン」を展開していきたいと思っています。すでに既存会員のご尽力によって、小・中学校の同級生繋がりの人脈から新規会員の加入が僅かながら進んでおりますが、一層の増員を目指して「新規会員募集キャンペーン」を展開することとし、そのチラシを本誌発送封筒に同封いたしました。是非ふるさとと一緒に過ごした懐かしい友人・同級生・先輩・後輩の皆さん(あるいは初恋の方 ♡)と連絡を取って頂いて在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会の場を「あのころの青春を語りあう会」としても活用して頂けたら大変ありがたいと思います。

今年の総会・親睦交流会は11月5日(日)いつもの上野精養軒で開催します。世の中はウィズコロナを前提に経済活動の正常化が進んできております。コロナ前を超えた更に楽しい親睦交流会を開催したいと思っております。お孫さんも連れてご家族一緒のご出席も大歓迎です。お待ちしております。

## 令和4年度 在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会

広報 副会長 上川 信行



2022年11月6日 上野精養軒にて令和4年度在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会が3年ぶりに開催されました。参加人数は花巻市関係のご来賓15名、近隣ふる里会のご来賓9名、首都圏からのご来賓1名、各コミュニティ関係者26名ふるさとさんさ踊りの皆様総勢50名が石鳥谷町から駆けつけてくれました。一般会員・役員73名(内子供3名)の参加を頂きました。また協賛企業は19社となり、沢山の協賛品を頂きました。ありがとうございました。

令和4年度在京石鳥谷町人会総会は式次第に沿って、粛々と進行し、ご来賓の八重樫和彦花巻副市長、藤原伸花巻市議会議長よりご祝辞を頂きました。ご来賓、各コミュニティの方々のご紹介もスムーズに行われ、総会が無事に執り行われました。

親睦交流会は在京花巻ふるさと会瀬川絃一会長の乾杯の挨拶ではじまり、一気に盛り上がっていきました。今回、上野精養軒の料理提供はコロナ対策もあり、レストランの食事形式です。

以前のビュッフェ形式とは異なり、静かな食事の時間となりました。また、お酒も注ぎまわったりできません・・・が何人かは会の後半には一升瓶を持ち歩いている方を見かけました。

アトラクションは新堀ふるさとさんさ会によるさんさ踊り、アロハ花フラによるフラダンス、こころ妃富美さんによる歌謡をご披露頂き、会を盛り上げて頂きました。



恒例のお楽しみ抽選会は協賛企業様の沢山のご支援ご協力のおかげで一般会員の目がキラキラ輝いていました。今回の人気は何といっても特産品の「香りやわらかネギ」です。畑の無い場所に住む我々は石鳥谷の大地で育ったネギにすごく郷愁を感じます。東京のネギは「香り」がないような気がします。



ネギ以外にもワイン、お米、お菓子、カレー等沢山あり、参加者全員に景品が当たりました。次回から5kgのお米が入る袋を持ってくるよう案内の注意書き追記しようと思います。

閉会のあいさつは上川副会長が執り行いました。途中高橋会長から「盛岡商業サッカー一部が全国大会進出」と余計な情報が入りましたが無事3本締めで会を閉じました。

私は3年ぶりの親睦交流会で多くの同級生、先輩・後輩、地元の人達、滅多にお話の出来ない八重樫和彦花巻副市長と話ができ、すごく元気をもらったような気分となりました。

来年はもっと大勢の人達に集って頂き、お互い元気に楽しい親睦交流会が出来れば良いなと考えております。

皆さん元気で上野精養軒でお会いしましょう！お待ちしております。



## 在京石鳥谷町人会親睦交流会に参加して ふるさとさんさ会 会長 藤原 一也



新堀地区コミュニティ会議は在京石鳥谷町人会支援事業の11月6日東京上野の精養軒で開催された在京石鳥谷町人会親睦交流会に参加させていただきました。

私たち、ふるさとさんさ会は会の発足当時より親子のふれあいを大事にし練習や活動を通じて親子の絆を深めることを方針に取り組みをしております。また、発足当時地元で芸能と呼ばれるものが無かったことから、ふるさとさんさ会のさんさ踊り、太鼓を芸能として世代を通じて伝承する活動を行っております。

新型コロナウイルスにより約2年間活動がなく、今年は感染者の減少にともない活動や練習も少しできるようになりましたが、会員約70名のうち13名の少ない人数の参加となりました。親睦交流会では演舞を12拍子、一番、七タぐずし、栄夜差踊り、福呼踊り、さんさ里唄の6演目行いました。会場は130名ぐらゐの出席者がおり、演舞を終えると会場から沢山の拍手や歓声をいただき、アンコールのかけ声もあり大変盛況に終わりました。終わってテーブルにつくと、「太鼓の迫力に感動して来年も是非さんさ太鼓踊りを披露してほしい」とお褒めの言葉を見ていた方々からいただきました。

ふるさとさんさ会のさんさ太鼓、踊りを芸能伝承し未来の子供達へつないでいく活動がこのような形で、石鳥谷を懐かしく思う方々の前で演舞できたことを大変光栄に思います。コロナ禍の中、行動が制限され、普通の生活に戻らない状況の中、今回のように会場の方々に喜んでいただいた事でまた普通の生活に戻っていただける希望をいただくことができました。また、たくさんの方に喜んでいただけることで私たちの今後の活動の励みにつながっていくと感じています。これからも地元を大事に思い活動していき練習をさらに積んで、たくさんの方に喜んでもらえるように活動してまいりたいと気持ちをあらたにいたしました。最後に当日の開催まで準備に携わった在京石鳥谷町人会役員の皆様に感謝申し上げ親睦交流会参加の感想と感謝の言葉にしたいと思います。大変ありがとうございました。

## 在京石鳥谷町人会親睦交流会に参加して

## ふるさとさんさ会 石川 雅人



今回、在京石鳥谷町人會に初めて参加し、ふるさとさんさ會の演目が演目の最初ということもあり、とても緊張しました。

演舞の最中「踊りも見たい」とのリクエストがあり、急遽前列と後列の配置を変えるも、問題なく演舞を披露できました。

演舞前やその最中にも個人的なハプニングがいくつかありましたが、なんとか乗り越え無事踊りきることか出来ました。練習の成果を出し切り、現在の自分で出来る最高の踊りが出来たと感じています。

会場の皆様から多くの拍手が貰えたことを大変光栄に思います。

## 初めて在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会に参加して 新堀出身 杉浦喜仁

今年初めて在京石鳥谷町人会 総会・親睦交流会に参加しました新堀 6区の杉浦喜仁(旧姓、照井)です。黒沢尻工業を卒業し、現在、医療関係の仕事に携わっている62歳のおじさんです。

埼玉県川越市に住んでいます。

町人会に入った経緯は、数年前、役場に勤めている同級生の三又雅文君と会う機会があり、「東京周辺に同級生いるかな？」と聞いてみたら「喜仁、在京石鳥谷町人会というところがあるよ」と教えて貰いました。資料を送って貰い、入会の申し込みをしました。

総会・親睦交流会への参加は初めてなので少し不安がありました。町人会の幹事菊地勝江さんと同級生の高橋千良君と飲む機会があり、親睦交流会の話を聞き、興味を持ちました。総会案内のハガキが届き、少し悩みましたが高橋君からも誘われ一緒に参加する事にしました。

当日は高橋君と上野精養軒で待ち合わせして、ドキドキしながら会場に入りテーブルにつきました。テーブルには同級生の八重畑コミュニティ事務局長大竹昌二君や見たことのある人達がいきました。同じテーブルの方々が気さくな人達で不安が一掃されました。コロナ渦中ですが約140名の参加人数と聞いて驚きました。3年ぶりの開催で会員の方々は、「待ってました！」という気持ちで参加されたのだらうと思いました。

総会が始まり、来賓紹介で同級生の佐藤現議員、同じく同級生の小森田邦彦君の息子さん小森田郁也議員も出席しておりびっくりしました。

親睦交流会では、ユーモアのある挨拶、懇談では同級生達と酒を酌み交わし、写真撮影、方言での会話、また、高校の先輩上川副会長を紹介され何度もビックリしました。

アトラクションでは新堀ふるさとさんさ会のさんさ踊り(YouTube でしか見たことない)、フラダンス、歌謡などが披露されました。お楽しみ抽選会が始まりました。進行役の方のユーモアたっぷりの話し方、景品は地元の物産品など、上野にいるのに石鳥谷にいるような気になり、「改めて地元はいいなあ」と思いました。



親睦交流会が終わり、二次会も参加させて頂きました。初めての参加なのに「参加してもいいのかな？」と思いましたが幹事の方々、同級生達から誘われ参加しました。二次会でもすごく気さくに話しができて改めて感動しました。

在京石鳥谷町人会は色々な分野の方々の支援で、続けて来られた事と思えました。これを機に私も皆様の仲間に入り、毎年出席して沢山のひとと交流を深めたいと思います。また、地元に戻った際、町人会に協賛しているお店を訪問したいと思います。町人会の催しものにはできるだけ参加しようと思います。

在京石鳥谷町人会は 1 都 6 県に住んでいる方だけでしょうか？関東圏にはまだ沢山の同級生達がいるので、なるべく多くに声をかけて在京石鳥谷町人会総会・親睦会に参加するよう誘いたいと思います。

今後ともよろしく願います。ありがとうございました。

## 「阿豆流為・母禮之碑」法要に参加して

企画 副会長 川村 三郎



令和4年11月12日(土)京都音羽山清水寺に於いて、第29回阿豆流為・母禮の碑の法要が有ると高橋会長より紹介をして頂いた時すかさず参加の意向を伝えました。

高橋会長に参加申し込みをして頂き、関西アテルイ・モレの会に了解を頂き、私の家内も含めて3人で参加してまいりました、高橋会長は既に6年位前からこの会の会員になっているそうです、私達は歴史好きな同伴者と言う立場で参加しました。

当日はとても暖かく土曜日と言う事も有り、人が参道を埋め尽くし清水寺へ押し寄せる川の様でした。

私が参加する事を決めたのは以前 NHK の大河ドラマにもなった「炎立つ」と言う高橋克彦氏が書いた小説を読んだ事が有り、北東北に生息し独自の文化を持ち生きた蝦夷と呼ばれた人達がいて、岩手県人である私にとっては自分達のルーツではないかと思った事が有りました。その蝦夷の統領である「阿豆流為」が朝廷の都である京都にいたのは蝦夷討伐の征夷大將軍坂上田村麻呂と戦い和解し、和解した事で朝廷に疑われた田村麻呂を助ける為に来て殺害されたという歴史を知り無念の思いを抱いた事が有りました。この清水寺は坂上田村麻呂が寄進した土地だそうです。その子孫が平泉に藤原清衡、基衡、秀衡の三代に渡り栄華な文化を築いた事は歴史の事実です、岩手県人の私としてはとても誇りに思っていましたし、阿豆流為・母禮の無念さを鎮めて上げられればと思ひ法要への参加を強く望みました。

高橋会長が大阪市に赴任していた頃にこの会を知り会員になっていたそうです。この石碑は清水寺がユネスコ世界遺産に登録された年に建立されたそうです。

今回(29回)の法要では8:30に仁王門前に集合して受付をしましたがあまりの観光客の多さに迷子になるのではないかと心配しました。時間になると清水寺学芸員坂井輝久先生の案内と説明により清水の舞台を周り普段では一般の人は入る事の出来ない「奥の院内陣」に誘導され外で今回の清水寺の修復、改修により奥の院内陣も大きく変わった様でした。以前がどのようだったか知らないのが驚く事ばかりでしたが追い打ちをかける様に坂井先生に「では中に入りましょう」と案内された時は見てはいけない物が観られるという高揚感でドキドキマスクの中では口が開きっぱなしでした。

奥の院左横の扉を開けて入り始めました、院内が狭く暗かったので全員が入った頃に他の一般観光客も入ろうとしていたので役員の方が無理やり扉を閉めて門を掛けました。外では一般客が中で何をやっているのだろうと覗き込んでいました。その中では学芸員坂井先生が奥の院改修の際に今まで知られていなかった仏像などが数多く有ったそうです、暗い中に何十体と仏像が置かれていて三面千手観音菩薩坐像は 1 体だけ大きくて有難く拝観させて頂きました。

奥の院を出て羽音の滝の前を抜けて清水寺南苑の「阿豆流為・母禮の碑」前の法要会場に集合して準備の整った会場に着席しました。先ず慰霊の笛として森美和子さんの篠笛演奏が有り、ざわめいた観光客の喧騒の中に清らかな霊場が出現しました。その後全山の僧侶が待ち受ける所に清水寺貫主 森 清範師が現れて読経と共に法要が行われ、その森 貫主の読経の中で参加者全員が焼香を行いました。終わった所で参加者全員の集合写真撮影と3組だけの森 貫主との記念撮影が有ると聞こえました、まさか私達もリストに入っているとは思っていませんでしたが高橋会長が司会役の方に話を付けて頂いていた様で呼ばれた時は畏れ多い体で勧められるまま森 貫主を間に私達夫婦が並び高橋会長は森 貫主の後ろに立ちました、撮影準備中に横に座った私に森 貫主より

「奥州市からですか？」と直接言葉を掛けられました、慌てた私は「いえ、花巻市です」と答えましたが高橋会長も同時に同じ言葉を答えていました、普段なら笑いながら顔を見合わせるのですが笑える状態ではありませんでした。すると森 貫主から「大沢温泉ですか」と声を掛けられましたので「是非いらして下さい」と答えてしまいました。私の住んでいるのはさいたま市でした！花巻から来たような答えをした事に後で笑い合いました。

何はともあれ清水寺森 清範貫主と言えれば毎年年末に恒例の TV 中継で清水寺の舞台の見える場所で“今年の一宇”を大きな白い紙に筆で書き上げている人としてしか認識していませんでしたが毎年見ていました。夢のような感じで感激致しました高橋会長の配慮に感謝致します。

次は円通殿で森清範貫主の法話を頂きましたが、その前に法要の時篠笛を演奏して下さいました森美和子さんと箏を奏でる中川佳代子さんの合奏で東北の子守歌メドレー、南部牛追い唄、星めぐりの歌、沙羅の花など素晴らしい演奏を聞かせて下さいました、そして森 清範貫主の法話を頂きました、阿豆流為・母禮の話ではなく京都弁で柔らかく世間話の様な法話でした。

最後は円通殿の中を通り「洗心洞」と言う会場に移り懇親会が行われましたが、法要の時は90人位いました参加者がこの会場には72名でした、この会場には清水寺森 清範貫主、倉成 淳奥州市市長、菅原由和奥州市議会議員、岩手トヨペット社長、胆江日日新聞社社長等々岩手県からもいらしていましたが殆どが関西の方々で関西胆江同郷会、関西岩手県人会、京都岩手県人会などが阿豆流為・母禮の碑法要運営に関わっているようです、蝦夷に関して我々岩手県出身者にとってはもっと関東や岩手の関係者に広く知って頂き参加を呼びかけても良いのではないかと感じました、私も是非会員になりたいと高橋会長を通じてお願いしておりますし、私の知り合いにも岩手の歴史好きがいるので紹介したいのですが果たして広めて良いものかこの件も確認したいと思います。

これからも私は「阿豆流為・母禮の会」と関わって行きたいと感じております、高橋会長には望むべくもない経験をさせて頂き大変感謝しております。

第42回在京東和町友会の集いに参加して

企画 副会長

川村 三郎

令和4年11月13日(日)11:30から文京区湯島の東京ガーデンパレスホテル高千穂の間にて“第42回在京東和町友会の集い”が鎌田節郎副会長の開会の言葉により開催されました。

まずは蟹澤政志会長の代表挨拶で3年間のコロナ感染症による最悪の状況を避けて中止せざるを得なかった点をお詫びし、今回の会合に参会頂いた皆様への感謝の言葉を述べ、また9月9日～12日に企画し実行直前になり中止をせざるを得なかった「ふるさとツアー2022」ふるさと支援旅行、中止の件もお詫びがありました。

各在京ふるさと会共通の悩みである会員の高齢化と若者の入会がなかなか思う様に行かない点を述べ、今後とも会員募集を続ける努力をする事を述べていました。次に各役員による令和3年度の活動、会計と監査報告に令和4年度の役員を紹介されました。来賓挨拶では東和町総合支所長 菊池郁哉氏による花巻市長の挨拶を代読され、花巻市議会副議長内館 桂氏が祝辞を述べられました、来賓の紹介の後紫波ふるさと会会長鷹嘴清一氏の乾杯のご発声により懇親会になりました、スピーチタイムでは岩手日報東京支社長菅原智広氏がお話しされ盛り上がるアトラクションとして横浜在住の二子流鬼剣舞がアクロバティックな剣舞を披露して会場の皆様を魅了しました。

その後蟹澤会長の強い要望で我がフラダンスチーム「花フラ」により花巻ふるさと会内での伝統のフラダンスを披露してくれました、続いて在京東和町友会会員に対して出されていたクイズの答えが発表されて当選者に賞品が蟹澤会長より手渡されました、アトラクションの最後は恒例の参加者全員が立ち上がって「ふるさとは今も変わらず」と「北国の春」2曲を熱唱致しました。



中締めを花巻農協常務理事小原卓志氏が締め最後に鎌田節郎副会長の閉会の挨拶で「心でつなぐ心の絆」として 1, 郷土の観光・物産を推奨し広く宣伝しよう。2, 郷土へのユーターン、アイターンに資する情報を紹介しよう。3, 郷土に積極的に帰省し情報交換、交流を図ろう。4, 郷土の大自然で育んだ縁と絆で相互の結束をはかろう。5, 首都圏在住者に入会を推進し会員を増やそう。の5つの決意を唱えてお開きになりました。少ない役員でものすごい頑張りが感じられこの「第42回在京東和町友会の集い」に携わった役員の方や関係者にご苦労様でしたと声を掛けたいと思います。

### 第37回金ヶ崎人の集いに参加して

企画 副会長 川村 三郎



令和4年10月16日(日)11:30受付開始、会場は恒例の日暮里ホテルラングウッドです、日暮里は我々在京石鳥谷町人会にとっても幹事会やフラダンスの練習など馴染みのある場所です。

在京金ヶ崎人会さんも我々と同じく3年ぶりの集いですので金ヶ崎町の方々とお目に掛かるのが楽しみでした。

少し早目にホテルに到着し受付に進んで行くとまだ準備の最中で混沌としていたのでロビーのソファに座って受付開始を待って居ると金ヶ崎人会の阿部敬会長が私を見つけて急ぎ寄って来て来場の

お礼を言われました。私も今回の集いが事故無く迎えられた事に対してお祝いの言葉を申し上げましたのと常に主催者の抱える開催までのご苦労を労いました。時間の経過と共に続々と金ヶ崎町からの方々や関係者が集まり受付が混雑して来ました。

開会宣言と共に金ヶ崎の集いが始まり主催者挨拶で阿部敬会長が石鳥谷町の名前をだし、その挨拶の中で石鳥谷に関する事が多く用いられ嬉しく思いました。

阿部会長は石鳥谷の酒造りに関心が有り「南部杜氏」と言われる匠の技術集団を我が物の様に誇りに思っています。2年前に今の花巻市八重樫和彦副市長が石鳥谷総合支所長だった時に在京石鳥谷町人会総会親睦交流会で会い、南部杜氏への熱い想いを話したところ八重樫和彦支所長(当時)より石鳥谷の酒造りや南部杜氏に関する資料を贈られ、早速資料分析に取り組み独自に「南部杜氏の里」と言う文献を自費出版し、関係者に配布するほど熱い人です。石鳥谷を立ててくれて感謝いたしております。

そして懇親会に入り乾杯の発声で登壇されたのが金ヶ崎町議会議長でした。伊藤議長は私が在京金ヶ崎人会とお付き合いさせて頂いた頃には既に議長でしたから流石に人望の有る方なのだなと感じました。

そしてアトラクションでは地元の郷土芸能として本部が金ヶ崎町三ヶ尻の民謡舞踊研究会“南部千代連”が在京金ヶ崎人会創立35周年記念の祝舞を演舞し華やかにお祝いをしていました。我々の郷土芸能の“鹿踊りや、御神楽”とは違い現代風な郷土の楽しいアトラクションでした。

今後ともお付き合いしたいそして情報交換をしながらお互いの会の発展を目指したいと感じました。

参加者数は76名と発表されていました。



在京石鳥谷町人会 事務所移転

広報 副会長

上川 信行

長年慣れ親しんだ在京石鳥谷町人会事務所がある飯田橋の東京中央ビルが老朽化で建て直しのため事務所移転を余儀なくされました。2015年から7年間お世話になりました。

事務所移転の荷物整理を11月15日に高橋会長、川村副会長、私の3人で行いました。荷物は多くなく、思い切った断捨離効果が出て段ボール箱4箱となりました。引っ越し先は今のビルより古い感じで、3Fが事務所となります、狭い階段しかなく荷物の搬入は大変そうだなあと運送屋さんをちょっと心配しました。しかし、我々も階段の登り降りは大変です。



新事務所は都営新宿線馬喰横山駅 A3 出口から道路を挟んで交差点の向こう側です。JR 浅草橋駅から歩いて20分ぐらいです。1Fの「立ち食い蕎麦屋」が目印となります。入口はその横のドアから入ります。看板が無いのでドアを開けるとここかなと少し不安になります。そして、階段を上ると3階が事務所となります。

室内は飯田橋に比べ若干広く感じられます。今回の目玉は、インターネット接続できる環境となっており、WIFI アンテナが設置されています。これでZOOM会議や編集会議が格段にやり易い今風の”Office”になりました。

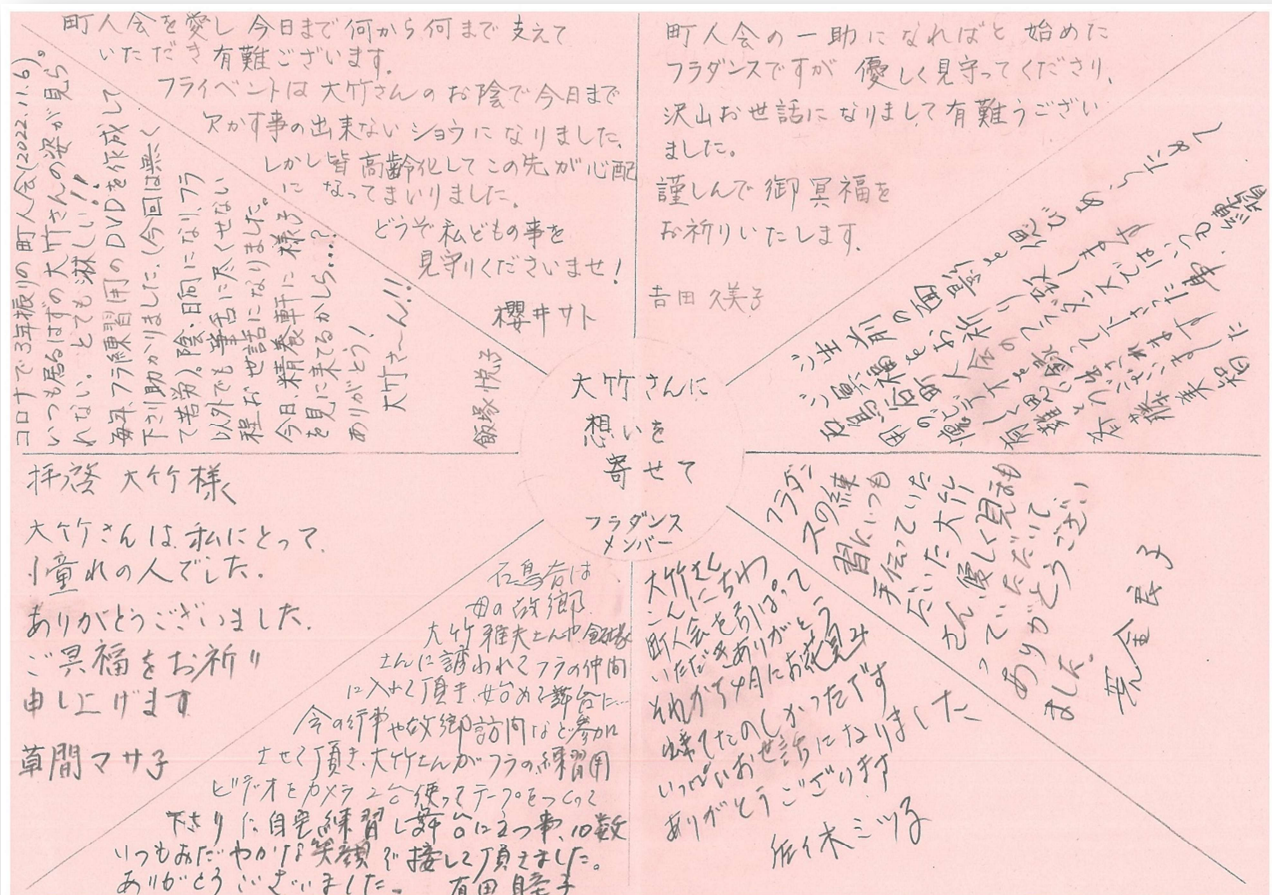
新しい環境での再スタートとなりますが在京石鳥谷町人会も気持ちを引き締め、大勢の方々と楽しい親睦交流会が出来るよう努力したいと思います。

【寄せ書き】

「大竹さんに思いを寄せて」

アロハ 花フラ

有志の皆さん



## 石鳥谷地域コミュニティ会議に参加しました

広報 副会長 上川 信行



令和5年2月10日～11日石鳥谷地域コミュニティ会議に参加の為、石鳥谷に帰りました。在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会で各コミュニティ様からご支援、ご協力を頂いており、その御礼と今後の総会・親睦交流会をより良い会となるよう、問題点、要望等をお聞きする事及び、当会の会員減少に歯止めをかけるべく、新規会員獲得のご協力をお願い致しました。この場で説明は省きますが令和5年度の在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会はワンランクアップの企画演出で臨みたいと思います。

是非、会員皆様のご参加をお待ちしております。新規会員、ご紹介の方には・・特別企画を用意するつもりで検討しております。よろしくお願いいたします。

## 令和5年度 たろし滝測定会見学

広報 副会長 上川信行



令和5年度 たろし滝測定会を見学しました。

2月11日は前日の大雪で除雪作業車が早朝から道路で大活躍でした。初めてのたろし滝で前日「山登り気をつけろよ！」と助言を頂いていた事をすっかり忘れていました、それが現実となり、急坂の雪道を登る事になりました。雪道を踏み外すとズボッと底なしで体が埋まります、道を外れると滑落の危険があります。たろし滝の場所をそんなに高くないと考えていた自分の甘さに後悔しました。葛丸川の上流だし、水が流れるならそんなに高くないと思っていましたが葛丸溪谷の中腹にたろし滝がありました。見上げると更に上空に子たろし滝があり、一体この水源はどこにあるのだろうと不思議でした。

さて肝心の「たろし滝」ですが巨大な氷柱となって青白いオーラを発していました。

たろし滝の中は空洞のようで、水が流れる音がぼこぼこ鳴っていました。水量は結構ある感じです。豊作祈願、お神楽奉納の神事後、いよいよ測定会です。私は円周が3.8mぐらいかなと思っていましたが5.4mもありました。去年は5.45mなのでほぼ昨年と同じです。作況占いは「並」となりましたが十分立派なたろし滝です。

来年は50回目となるそうですが、最高記録8.0m越を期待します。

ただ自然が作ることで計測不能の年もあり、地球温暖化、異常気象等が葛丸溪谷にも影響していると思うと自分たちの日常生活が地球環境の破壊に協力しているようで申し訳ない気持ちになりました。



八日市つるし雛まつり

八日市地区コミュニティ会議

高橋 麻美



八日市地区コミュニティ会議高橋麻美様より「つるし雛まつり」の様を写真で頂きました。今年のつるし雛まつりは18回目となります。ただ16回、17回目はコロナで中止したそうです。

ひな人形は同好会メンバー9名の方々が作成しており、今までに作った作品は大小合わせて約1万点を超えるそうです。雛人形にはそれぞれ意味がありセミは「泣く子は育つ」ウグイスは「きれいな声になるように」との願いが込められています。

ここでクイズ

【クイズ】 雛人形とその意味は何でしょうか？

- ①猿っこ                    a. やりくり上手な人間になる
- ②茄子                        b. 災いが去る
- ③栗                            c. 物事をなしとげる

(答えはP12)



第 43 回 全日本綱引き大会応援記

在京石鳥谷町人会有志の皆さん



令和5年3月5日 駒沢体育館  
4年ぶりとなる第43回全日本綱引き大会に石鳥谷町の女子チームが岩手県代表として出場しました。開催に際し連盟から20年連続出場の特別表彰を受賞しました。20年連続出場はチームの維持に努力を尽くした結果だと思えます。試合は4チームのリーグ戦、その結果により決勝トーナメントの組み合わせとなります。「いしどりや」チームは善戦するもあと一步届かず決勝までは進めませんでした。

観戦している応援団も気持ちは選手と一緒に手に力が入ります、勝負がつくたびにフーと溜息が出ます。試合後、選手の皆さんと関係者、応援団とで交流会を開き、石鳥谷の話、綱引きの話で大いに盛り上がりました。来年も是非、全日本綱引き大会に参加できますよう、頑張ってください。応援しております。

## 茂木さんと私の奇跡的な出会い

企画 副会長 菊池 正弘

まずは、コロナ禍での待ちに待った総会開催、そして大成功。ほっと一安心です。

幹事の皆様、ご苦労様でした。えがったなはん。「継続は力なり」で、今回の努力は今後の大きな成果に繋がると思います。

さて、奇跡的な出会い、それは二十年くらい前のある日、西新宿の新宿中央公園に隣接した交差点にあったセブンシティビル内の理髪店の事です。私の職場はその近くのパークハイアット東京ビル内にありました。ランチは近場の食堂に向向のですが、いつも理髪店が目にとまっていてついに入店しました。

理髪椅子に座り、担当のお姉さん(といってもワンマン経営)から

お姉さん「どのようにしますか？」

私 「スポーツ刈り的な短めで」と、その後は世間話しながらチョキチョキと心地よい鋏捌きでかっこいい頭になっていきます。世間話の中でお姉さんの心休まる、聞き覚えのあるイントネーションの話し方(平たく言えば東北なまり)が少し気になり

私 「お姉さん、東北出身？どこ？」

お姉さん「岩手県」

私 「私もです。どこ？」

お姉さん「石鳥谷」

なぬう！！なんとそれも好地だったのです。こんな事ありか。びっくり、超奇跡的。

私は椅子から跳ね上がりそうになりました。チョキチョキ中だったので頭が血で赤く染まるどころでした。これが茂木さんとの出会いです。

その時に町人会の事を紹介しお誘いしました。理髪店は日曜日にお休みすることは命取りになると思いますが、彼女は11月総会の日だけは何を置いても休店して上野に駆けつけています。

今は国立国際医療研究センター病院に隣接している戸山サンライズ全国障害者総合福祉センタービル内にあるお店でやはりワンマン経営しています。施設がら来店者は身体障害者が多く大変気を遣う理髪作業をしています。まっこと凄いですよ。何よりお客様にはじっとしてられない方もいますからね。

若い時は、丸の内の国鉄本社ビル内の理髪店に勤めており総裁、他関係者の整髪を行い、その美貌と人柄と腕の良さからお客様に愛でられ、今でも現在のお店に通っている方がいるとの事です。最後に、十年くらい前に、親睦交流会のお土産に「巾着」が入っていたことが記憶にあると思いますがそれは茂木さんの叔母さん(当時(2013年)100歳)の手作り作品だったのですよ。その方は美容界では著名な方で、過去の本誌にも紹介されていました。私達のこの劇的出会いがなければ、皆さんが

「巾着」を手にすることはあり得なかったのです。



## 【編集後記】

「つるし雛」クイズの答え

- |         |                     |
|---------|---------------------|
| ①-b 猿っこ | a. やりくり(栗) 上手な人間になる |
| ②-c 茄子  | b. 災いが去る(猿)         |
| ③-a 栗   | c. 物事をなし(茄子)とげる     |

在京石鳥谷町人会だよりは4月と9月の2回発行です。4月発行はどうしても「桜」の記事が掲載できないギリギリの時期で編集担当としてはとても残念です。3月26日に「お花見クルーズ」が企画されていますが、桜はどのような状態なのか？結局、宴会だけか？どんなレポートが来るか楽しみです。今年はマスク無しでお花見も楽しめそうですね。皆さんと11月に再開できる事を楽しみにしております。あ！8月の「夢まつり」がありますね。今年は大正橋河原で花火が見れると良いですね！……では皆様お元気でお過ごし下さい。 編集長:上川 信行